

-----6月20日-----

## ※ 今週のアウトルック (6/20~6/24)

先週は、もみ合いから若干円高気味のレンジで推移しました。米国経済の失速感、コモディティの調整、ギリシャ国債問題など、リスク回避傾向が強い要因が尾を引き、反発の時期を遅らせている感じです。今週もこの傾向は続くように思います。

ドル円は80円のサポートと、81円のレジスタンスが少し強くなっている感じです。どちらへも抜ける材料に乏しく、この状態は、FOMCあるいは、7月の雇用統計あたりまで続いてしまうのかもしれない。また、ギリシャ問題に関し、少しだけ良い材料が出てきています。ユーロ買い戻しが強くなれば、ドル売りからドル円も、79円あたりまでドル安が進む可能性もあるように思います。

ドル円の予想レンジは79円から81円です。

ユーロは、ギリシャ問題解決への期待感から、週末には少しだけユーロの買い戻しが入って終了しています。この傾向が今週も続くのか、それとも一時的なもので終わってしまうのか微妙なところですが、EC各国の対応報道に、一喜一憂する傾向が強いように思います。

どちらへも大きく動きづらい状況が、もうしばらく続いてもおかしくないと考えています。

ユーロ円の予想レンジは114円から117円です。

ポンド円は、130円を割って週末を迎え、調整傾向がより強くなってしまったように思います。127円あたりを目指す下落トレンドが、しばらく続いてしまうかもしれません。

ポンド円の予想レンジは127円から131円です。

今週は、大きなニュースがない限り、どちらへも動きづらい状況がしばらく続きそうです。

### \*免責事項\*

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。

